

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	ひいらぎ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 22年11月29日

総 評	<p>ひいらぎ保育園は「心に華を咲かせよう」という理念の元、36年にわたり地域に根ざしてきた保育園です。</p> <p>昨今の保育ニーズに積極的に応えるため、受け入れ定員数を増やしてきました。園舎にはその工夫が随所に見られます。2011年4月からは、榎島ひいらぎ保育園も同一法人により開園する予定です。</p> <p>職員は、課題や資質向上に取り組む姿勢(職員による委員会やチーム編成)が見られ、保育に活かしたいという思いがサービスに反映されています。具体的には、赤ちゃんマッサージ、音楽ひろば、玩具研究が上げられます。さらに、0・1歳児の食事・排泄の際には、園独自の柔軟な担当制保育を実施しています。また、保育士等に対する看護師を中心としたメンタルヘルスケアに取り組んでいます。</p> <p>管理者は適正なリーダーシップを発揮し、コミュニケーションの重要性を明確にすることで、保育士との信頼関係を築き、保育士自身が保育を楽しみと思えることを推進しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の質の向上のため職員の研究保育を行い、保育者の自発性を引き出す取り組みを行っています。 ・ 食育に熱心に取り組んでいます。幼児はランチルームを利用し、食事を楽しむ工夫が随所に見受けられます。献立には保育内容テーマとの関連から郷土料理を取り入れています。 ・ 保護者が保育に参加する「保育参加」を取り入れ、保護者と共通理解を深める機会を設けています。また、新たな取り組みについては、反省点や課題を改善するために、会議、話し合いが行われています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られていますが、月案については月1回以上の評価を記録されることが望ましいでしょう。 ・ 不審者侵入についてマニュアルがあり対策を講じていますが、継続的な研修をされることが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	ひいらぎ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成22年11月29日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	A	A
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	B
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・ 保育理念・基本方針・保育目標が保育園のしおりに明文化され、職員や利用者等に周知されています。
- ・ 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られていますが、月案については月1回以上の評価を記録されることが望ましいでしょう。
- ・ 保育課程、指導計画が職員や利用者等に周知されています。
- ・ 管理者は自らの役割と責任について文書化するとともに会議や研修、園だより等において表明しています。
- ・ 管理者は遵守すべき法令等を正しく理解するための多くの研修に参加しています。
- ・ 保育の質の向上のため職員の研究保育を行い、保育者の自発性を引き出す取り組みを行っています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

- ・ 社会福祉事業全体の動向について把握し、福祉サービスに対するニーズや情報を外部の機関から得ています。
- ・ 職員の就業状況や意向を把握し質を高める体制が確立されています。
- ・ 看護師を中心としてメンタルヘルスケアについても積極的に取り組んでおり、福利厚生が充実しています。
- ・ 地域のお年寄りのクラブと定期的に交流し、民生児童委員と常に情報を交換しています。
- ・ 保育園の取組みを地域に提供し、子育てサポート事業や親子リトミック教室を開催しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
		Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
			② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A	
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A	
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
[自由記述欄]					
<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシー保護に関する規定やマニュアルを玄関に提示しています。 ・ 苦情や要望に対して、迅速に取り組み、再発防止や要望にこたえるように努め、全職員に伝達しています。 ・ サービスの質向上のため定期的に自己評価をし、改善を図っています。 ・ 入園面接、健康診断、利用者に対する記録がデータ化され個人情報の管理が整備されています。 ・ 園内見学を随時行い、園のホームページにも園情報を掲載しています。 ・ 入園時には、園のしおりを配布し、説明会を行い、料金やけが等の対応について同意を得ています。 ・ サービスの継続性に関しては、転園先の求めに応じて対応していますが、内容を文書化されることが望ましいでしょう。 					

IV-1 子育ての発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・健康診断、歯科健診の結果を保護者や職員に伝達し、保育に反映させています。
- ・感染症発生に対応できるマニュアルがあり、発生時には状況を掲示板やメールで保護者・全職員に知らせています。
- ・幼児はランチルームを利用し、食事を楽しむ工夫が随所に見受けられます。献立には保育内容テーマとの関連から郷土料理を取り入れ、食文化に触れられるような取り組みがされています。
- ・アレルギー児には医師の指示書により代替食を提供しています。
- ・各部屋は年齢に合わせた保育環境が整備されています。また自発的に行動できるよう、遊具の安全点検は毎月行われています。
- ・赤ちゃんマッサージの実施、延長保育への配慮、障がい児保育の為の環境の整備などが適切にされています。
- ・0、1歳児の食事は一人ひとりの生活リズムが大切にされ、当園ならではの担当制保育が行われています。
- ・日々の保護者との連絡ノートは複写式を活用し、保護者との密接な連携と保育士がそのまま保育記録に使用できる業務省力化の工夫もされています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・子育て相談や個別面談により、保護者支援を行っています。
- ・保護者が保育に参加する「保育参加」を取り入れ、保護者と共通理解を深める機会を設けています。
- ・虐待を受けていると疑われる児童の早期発見に努め市役所や関係機関と常に連携を取り合っています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

- ・食中毒発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知しています。
- ・事故の防止について毎月安全点検を行い、ヒヤリハットの事例やけがの危険箇所を共有し再発防止に努めています。
- ・不審者侵入についてマニュアルがあり対策を講じていますが、継続的な研修をされることが望ましいでしょう。